

グローバル・イノベーション・インデックス 2019:インドが大躍進を果たし、スイス、スウェーデン、米国、オランダ、英国は上位にランクイン;貿易保護主義が未来のイノベーションにリスクをもたらす

WIPO、コーネル大学、INSEAD および 2019 GII ナレッジパートナーズ、インド産業連合、ダッソー・システムズ、3DEXPERIENCE カンパニー、ブラジル全国工業連盟(CNI)、ブラジル零細・小企業支援サービス公社(Sebrae)による共同出版です。

ニューデリー、2019年7月24日 – グローバル・イノベーション・インデックス 2019年版では、スイスが世界で最も革新的な国となり、それにスウェーデン、アメリカ合衆国(米国)、オランダ、イギリス(英国)が続きます。またレポートでは、地域のリーダーとしてインド、南アフリカ、チリ、イスラエル、シンガポール、そして各所得層のトップに中国、ベトナム、ルワンダが報告されています。

今回で第12版となるGIIは、政策立案者が経済および社会発展の主な原動力となる革新的活動をどのように振興し、測定するべきかについて理解を深める際に役立つ世界的なベンチマークです。GII 2019では、研究開発投資、国際特許および商標出願のような伝統的な測定手段から、携帯電話アプリの作成やハイテク輸出のような比較的新しい指標からなる80の指標に基づいて129の経済圏(別紙1)をランク付けしました。

GII 2019では、経済的背景も考慮しました。経済成長の減速の兆しがあるにもかかわらず、特にアジアではイノベーションが引き続き発展しています。しかし、貿易の混乱と保護主義からの圧力もまた迫っています。レポートは、イノベーションに関する堅実な政府の計画が成功のカギになることを示しています。

「GIIでは、イノベーションを政策の優先事項に掲げている国々がランキングで大幅に順位を上げました。」とフランシス・ガリ WIPO 事務局長は述べました。「GIIに見られる中国やインドのような経済大国の台頭により、イノベーションの地理的分布が変化してきました。これは、イノベーションを振興するための周到な政策措置を反映しています。」とフランシス・ガリ WIPO 事務局長は述べました。

世界ランキング上位 20 位

1	スイス(2018年第1位)	11	韓国(12)
2	スウェーデン(3)	12	アイルランド(10)
3	アメリカ合衆国(6)	13	香港(中国)(14)
4	オランダ(2)	14	中国(17)
5	イギリス(4)	15	日本(13)
6	フィンランド(7)	16	フランス(16)
7	デンマーク(8)	17	カナダ(18)

8	シンガポール (5)	18	ルクセンブルク (15)
9	ドイツ (9)	19	ノルウェイ (19)
10	イスラエル (11)	20	アイスランド (23)

今回初めて、GII の出版発表はインド政府の主催で行われます。インド政府は、イノベーション政策の枠組みを強化するための創造的な手段として、GII を国家および地域の両レベルで活用しています。

「インドでのグローバル・イノベーション・インデックス 2019 年版の出版発表は、重要なイベントであると同時に、インド政府のイノベーションに対する近年のコミットメントを評価する機会でもあります。」と Piyush Goyal、商務省および産業・鉄道省大臣は述べました。さらに、「GII は、政府がイノベーションの育成を目的とした戦略を策定する際に役立つツールです。インド政府はこの分野における世界知的所有権機関の取り組みに賛辞を贈ります。」と述べました。

ガリ氏は、GII の世界的な出版発表の主権に関してインド政府に感謝を述べました。「経済発展を助長するために高いレベルでイノベーションの活用注力しているインドは、GII 2019 の発表に理想的な国です。」とガリ氏は述べました。

GII 2019 主な調査結果

本年度の GII の注目すべき主な調査結果(別紙 2) :

科学、イノベーション、テクノロジーの世界的な状況は、過去 10 年間で重要な変化を遂げてきました。特にアジアの中所得経済圏は、世界的な研究開発および WIPO の国際特許システムによる国際特許取得率にますます貢献しています。;

- GII 2019 では、特に一部の高所得経済圏における公的研究開発費用が緩やかに成長または停滞していることが報告されています。未来のイノベーションの鍵となる基本的な研究開発や実用的ではない研究における公的セクターの中心的役割を考慮すると、これは懸念すべきことです。
- 拡大する保護主義がリスクをもたらしています。これを抑えることができれば、イノベーションの生産性向上および世界的な普及の遅延を引き起こすことになるでしょう。
- イノベーションのインプットおよびアウトプットはいまだに限られた経済圏に集中しています。経済圏がイノベーションへの投資に対する見返りをいかに効率的に得ているかという点に関しても格差が存在します。一部の経済圏はより少ない投資でより多くを得ています。
- 科学・テクノロジークラスターの上位のほとんどが米国、中国、ドイツにある一方で、ブラジル、インド、イラン、ロシア連邦、トルコもまた上位 100 位のリストに入りました。クラスター上位 5 位: 東京 - 横浜(日本)、深セン - 香港、中国(中国)、ソウル(韓国)、北京(中国)、サンノゼ - サンフランシスコ(米国)。

「グローバル・イノベーション・インデックスはイノベーション能力およびパフォーマンスに基づいて経済圏をランク付けする一方で、グローバル・イノベーションの原動力に関する貴重な洞察を提供しています。レポートでは、イノベーションに秀でている経済圏、そして、イノベーションインプットへの投資を首尾よくイノベーションアウトプットに変換してきた経済圏に注目しています。これらのイノベーションリーダーによるレッスンを通じて、他者にイノベーシ

「政策に関する実用的なガイダンスを提供しています。」と Soumitra Dutta、コーネル大学前学長および経営学部教授、GII 共同出版者は述べました。

GII2019 テーマ:「健康的な暮らしを作る – 医療イノベーションの未来」

GII 2019 のテーマは「健康的な暮らしを作る – 医療イノベーションの未来」です。GII 2019 では、ヘルスケアをテーマにしたセクションおよび著名な寄稿者による 16 の章を通じて、人工知能(AI)、ゲノミクス、携帯電話に基づいた健康アプリなどを含む医療イノベーションがどのようにヘルスケアの提供を転換していくのかについて考察しています。

「健康分野におけるイノベーションは、診断と予後の両方において、データ(インターネット・オブ・シングス)および人工知能の影響をますます受けています。前例のない課題に関しては、倫理的、社会的、経済的側面から急速に取り組む必要があります。医療に関する決定の権力が医療従事者から遠ざかっているため、規制当局、政府、ビジネスおよび市民社会は、ビッグ・データの所有者や最新のアルゴリズムが健康に関する決定を行うまたはそれに影響を与える手段に関して、制限を設ける必要があります。迅速に行動を起こさなければ、健康および薬剤に関するイノベーションが、格差を引き起こす大きな原因になるかもしれません。」との Bruno Lanvin、INSEAD Global Indices エグゼクティブ・ディレクターは述べました。

GII 2019 地域のイノベーションリーダー

地域 / 順位	国名	GII 2019 グローバルランク
北米		
1	アメリカ合衆国	3
2	カナダ	17
サハラ以南のアフリカ		
1	南アフリカ	63
2	ケニア	77
3	モーリシャス	82
中南米、カリブ海		
1	チリ	51
2	コスタリカ	55
3	メキシコ	56
中央・南アジア		
1	インド	52
2	イラン・イスラム共和国	61

3 カザフスタン 79

北アフリカ、西アジア

1 イスラエル 10
2 キプロス 28
3 アラブ首長国連邦 36

東南アジア、東アジア、オセアニア

1 シンガポール 8
2 韓国 11
3 香港、中国 13

ヨーロッパ

1 スイス 1
2 スウェーデン 2
3 オランダ 4

北米

米国はより優れたパフォーマンスと改善された GII データカバレッジのおかげで GII の上位 3 位に入りました。米国は引き続き、クレジット・投資市場の質における世界的なリーダーとしての地位を維持し、研究開発集約型のグローバル企業、そして、最高品質の学術論文や大学を誇っています。米国は、イノベーションの質に関しては世界第 1 位です。また、上位 100 位の科学・テクノロジークラスターのうち最大数の合計 26 クラスターが米国に存在しています。

カナダは、人的資本および研究システムに関するより正確な評価のおかげで、第 17 位まで順位を上げました。大学および学術論文の質に対する高得点により、カナダはイノベーションの質で世界経済圏で第 10 位となりました。

サハラ以南のアフリカ

2012 年以来、サハラ以南のアフリカは他の地域に比べ、経済開発のレベルに対するイノベーションに関して比較的優れたパフォーマンスを示してきました。今年はこれに、ケニア、南アフリカ、ルワンダ、モザンビークが名を連ねています。

南アフリカ(第 63 位)は当地域の全経済圏の中でトップとなり、それにケニア(第 77 位)およびモーリシャス(第 82 位)が続きます。

南アフリカは、民間セクターに対する国内クレジットや時価総額などの指標で証明されているとおり、比較的洗練されたクレジット・投資市場の恩恵を受けています。他には、特許の支払いおよび出版物の質の指標で高く評価されています。

ルワンダは今年、大幅に前進し、2018 年から順位を 5 つ上げ、第 94 位にランクインしました。低所得層ではトップの経済圏となり、資本情報、クレジットの取得のしやすさ、公認のトレーニングを提供している企業、ハイテク輸入において優れたパフォーマンスを示しました。



中南米、カリブ海

中南米、カリブ海地域におけるイノベーションパフォーマンスの進展は依然として遅く、斬新的な改善や奨励策にも関わらず、当地域のイノベーションの可能性の大半が未開発のままであることが GII で報告されています。

当地域の経済圏の上位 3 位には、チリ(第 51 位)の後にコスタリカ(第 55 位)、メキシコ(第 56 位)が続きます。

チリは引き続き、制度的変数でその順位を維持し、特許、新案特許、モバイルアプリの作成に見られるパフォーマンスの向上とともに、教育関連の変数で改善を示しました。

国際貿易におけるその役割のおかげで、メキシコは引き続き、ハイテク輸入および輸出、クリエイティブ商品の輸出など貿易関連の変数に優れていました。

今年、当地域最大の経済圏である**ブラジル**は世界第 66 位にランクインしました。相対的に優れていた分野には、研究開発費や世界的な研究開発集約型企業などの重要な指標や、学術論文および大学の質が含まれていました。また、ブラジルは、世界で上位 100 位以内に入った科学・テクノロジークラスターを保有する当地域唯一の国もありました。

中央・南アジア

インドは今年も引き続き、第 52 位の経済圏として、中央・南アジア地域でトップの座を維持しています。インドが 2015 年の第 81 位から 29 も GII の順位を上げたことは、他の主要経済圏の中でも最大の飛躍でした。品質の高い学術論文および大学のおかげで、インドはイノベーションの質に関して、中所得経済圏で第 2 位を維持しています。また、生産性の向上や情報・コミュニケーションテクノロジーに関するサービスの輸出など、数々の重要な指標においても引き続き上位にランクインしています。インドは今年、世界的企業の研究開発費で第 15 位を達成しました。また、世界のトップ科学・テクノロジークラスターに関する GII ランキングでは、世界で上位 100 位のクラスターに入るバンガロール、ムンバイ、ニューデリーが特集されました。

イラン・イスラム共和国は当地域で 2 番目に革新的な国で、総人口の割合に対する理工学部卒業生に関して世界第 3 位の経済圏となりました。また、資本形成、特許出願、科学および技術的出版物、生産性の向上、ハイテク製造、商標および意匠などの変数で比較的優れたパフォーマンスを確認しました。

北アフリカ、西アジア

イスラエル(第 10 位)、**キプロス**(第 28 位)、**アラブ首長国連邦**(36 位)が当地域の上位 3 位の経済圏です。

革新的なビジネスセクターと優れた研究および開発システムのおかげで、**イスラエル**は情報・コミュニケーションテクノロジーやモバイルアプリに関連するサービスの輸出を含め、高品質なイノベーションの成果を上げています。

アラブ首長国連邦は、大学生・専門学校の留学生の数、ビジネスセクターの支援による研究開発費、企業の研究員、余剰人員の解雇の費用、電気出力、クラスターの発展状況において上位 10 位に入りました。



東南アジア、東アジア、オセアニア

シンガポール(第8位)、韓国(第11位)、香港、中国(第13位)が東南アジア、東アジア、オセアニア地域における上位3位にランクインした経済圏です。中国は第14位で、近年、GIIの順位を急速に上げています。

中国は引き続き、GIIの順位を上げ、世界のイノベーションリーダーとしての自身の地位を確立しています。中国は7年連続でイノベーションの質に関して中所得経済圏の間で第1位となり、特許、国別の意匠および特許、ハイテク、クリエイティブ商品の輸出において上位入りを達成しました。科学・テクノロジークラスターの上位100位のうち18位を占める中国は、この測定に関してアメリカに注いで唯一の2位です。

データカバレッジが改善されたこともあり、シンガポールは今年第8位になりました。制度関連の指標におけるリーダーシップを維持する一方で、知能集約型の雇用や戦略的同盟の取引に関して世界的なリーダーになりました。

韓国は昨年より順位を1つ上げ、上位10位に近づきました。人的資本および研究で世界的なリーダーとなり、研究開発関連のほとんどの指標、そして大学生・専門学校への入学、研究者の数に関して上位を維持しています。韓国は、その国内総生産(GDP)に対する国内特許出願、意匠、ハイテク輸出に関して世界1位の座を維持しています。

ベトナム(GII 2018から3つ順位を上げ第42位)およびフィリピン(GII 2018から19順位を上げ第54位)は今年、重要な前進を遂げました。GIIモデルの一部変更がフィリピンの飛躍を説明する一方で、新しく使用された測定基準により、進歩の兆しを示す革新的なパフォーマンスに対する綿密な評価が可能になりました。両経済圏はほとんどのGII分野で向上し、ハイテクの輸出入で上位ランクインを達成しました。

ヨーロッパ

GII上位20位の経済圏のうち12経済圏はヨーロッパ諸国です。

スイスは、9年連続でGIIで第1位になりました。安定して優れたパフォーマンスが、特許出願、知的所有権の収益、ハイテク製造品などの素晴らしいイノベーションの成果に見られます。

スウェーデンは、先進のインフラ、革新的なビジネスセクター、知識およびテクノロジーの成果のおかげで、GII 2019では世界第2位の経済圏になりました。スウェーデンはイノベーションの成果で重要な改善を示し、その国内総生産に対し、WIPOの特許協力条約(PCT)による特許出願で第1位の座を維持しました。

グローバル・イノベーション・インデックスについて

今年で第 12 版となる [グローバル・イノベーション・インデックス 2019](#) (Global Innovation Index (GII)) は、コーネル大学、INSEAD、世界知的所有 権機構 (WIPO は国連の専門機関) による共同発表です。

GII は 2007 年以降毎年発表されており、現在では、世界中の企業幹部、政策立案者、そして世界中のイノベーション情勢に関する洞察を探求している人々が参考にする主要な評価指標ツールです。研究は、そのナレッジパートナーズの専門知識を参考にしています。ナレッジパートナーズ: インド産業連合 (Confederation of Indian Industry (CII))、ダッソー・システムズ - The 3DEXPERIENCE カンパニー、ブラジル全国工業連盟 (National Confederation of Industry - CNI)、ブラジル零細・小企業支援サービス公社 (Brazilian Micro and Small Business Support Service - Sebrae)、国際的に著名な有識者による諮問委員会。

GII 報告書の中心となるのは、世界経済のイノベーション能力とその成果のランキングです。GII は、経済発展と繁栄の推進力としてのイノベーションの主要な役割と、先進国と新興国の両経済に適用可能なイノベーションの広範なビジョンの必要性を認識しており、研究開発レベルのような従来のイノベーション評価基準を超えた指標を使用しています。

GII では、イノベーションの測定、そしてそれに対する理解を深めるより良い手段を模索する道りを改善し、イノベーションを強化する特定の政策や優秀な実例を特定することを主に考慮しています。GII は、下記の項目を含め、イノベーションの要因が継続的に評価できる環境を提供しています。:

- ・ データ、ランキング、長所と短所などの情報を含めた 129 カ国/経済圏のプロファイル
- ・ 30 種類以上の世界中の公的および民間ソースの指標に使用される 80 種類のデータテーブル (内訳は 57 種類のハードデータ、18 種類の複合指標、5 種類のアンケート調査結果)
- ・ 各指標ランキングに対する 90% の信頼区間など、透明性が高く再現可能な計算方法論 (GII、アウトプットおよびインプットのサブインデックス) およびランキングの前年比の変動に影響を与えている要因分析

GII 2019 は、2 つのサブインデックスの平均として計算されます。イノベーションインプットのサブインデックスは、次の 5 つの柱に分類される革新的な活動を具体化する国家経済要素を評価します: (1) 公的機関、(2) 人的資本と研究、(3) インフラストラクチャ、(4) 市場の高度化、(5) ビジネスの高度化。イノベーションアウトプットのサブインデックスは、イノベーション成果の実際の証拠を捉え、次の 2 つの柱に分けられます。: (6) 知識と技術のアウトプット、(7) 創造的なアウトプット。

9 年連続して、Joint Research Centre of the European Commission が GII の算定を監査しています。報告書全文はこちらのサイトからダウンロードできます: www.globalinnovationindex.org.

コーネル大学について

コーネル大学 は研究で優れた成果を出している私立大学であり、ニューヨーク州立大学と提携しています。ニューヨーク州から公有地を提供されており、ニューヨーク州、米国、そして世界全体の生活水準の向上をサポートするという公共福祉を最優先事項として、あらゆる知識分野に貢献するというアイビー・リーグ独自の責任があります。コーネル大学は、他組織や他分野と連携したより柔軟で協力的な未来のビジネスを反映した、新しいビジネス教育モデルを構築しています。Cornell SC Johnson College of Business は、Charles H. Dyson School of Applied Economics and Management、School of Hotel Administration、Samuel Curtis Johnson Graduate School of Management という高い評価を得ているビジネススクール 3 校の強みを統合し、各学生がコーネル大学の統合されたビジネスパワーによるメリットを享受して、より多くの学位を取得することができるだけでなく、幅広い講師陣や資源、専門知識から幅広く学べるようにしています。実社会の課題を解決する場合でも、特定業界に対する知識を深める場合でも、Cornell SC Johnson College of Business は、他にはない有意義かつ永続的なものを提供しています。

世界に展開するビジネススクール、INSEAD について

世界有数かつ最大規模のビジネススクールである INSEAD は、人、文化、アイデアを一堂に集め、ビジネスおよび社会を転換する責任あるリーダーを育成しています。投稿の研究、講師、パートナーシップは、この世界的な見解および文化の多様性を反映しています。生徒に真の国際教育体験を提供しています。ヨーロッパ (フランス)、アジア (シンガポール)、中東 (アブダビ) にキャンパスを構えた INSEAD のビジネスプログラムと研究は、3 大陸にまたがり展開されています。約 40 カ国から著名な 155 名の 教授 を迎え、毎年 1,300 名を超える学生に MBA、エグゼクティブ MBA、専門的な修士 (金融修士、‘変化’ 修士) および博士の各プログラムを提供しています。さらに、毎年 12,000 名以上のエグゼクティブが INSEAD のエグゼクティブ教育プログラムに参加しています。INSEAD は引き続き、最新の研究を実践し、当校の全プログラムを革新します。当校ではビジネスリーダーにどこでも活動できるような知識と意識を提供します。これらの中心的な価値とともに、学問の卓越性を促進し、世界に展開するビジネススクールとしての役割をグローバルコミュニティで果たしていきます。

WIPO について

世界知的所有権機構(WIPO) は、知的所有権政策、サービス、情報、協力のために設立された国際機関です。国連の専門機関である WIPO は、進化し続ける社会のニーズを満たすため、バランスの取れた 国際的知的所有権の枠組み を 加盟国 192 カ国 が構築できるように支援しています。また、複数の国で知的財産権の保護権利を取得したり、紛争解決したりするためのビジネス サービス も提供しています。さらに、新興国が知的所有権の使用からメリットを享受できるよう 能力強化プログラム を提供したり、WIPO が独自に開発した 知的所有権情報 のナレッジバンクを無償で利用できるようにしたりしています。

ナレッジパートナーズ

2019 年は、インド産業連合 (Confederation of Indian Industry)、ダッソー・システムズ - The 3DEXPERIENCE カンパニー、ブラジル全国工業連盟 (National Confederation of Industry - CNI)、ブラジル零細・小企業支援サービス公社 (Brazilian Micro and Small Business Support Service - Sebrae) がナレッジパートナーズとして共同参画しました。

ナレッジパートナーズは国家の競争力の向上、経済発展の実現、社会変化の推進、国家の未来の基盤作りにイノベーションが果たす役割を高く評価しています。

ナレッジパートナーズは、有益で隔たりのないリソースを提供することに尽力しています。また、ナレッジパートナーズは GII レポートに分析詳細またはケーススタディを提供したり、GII の調査結果に関する議論および普及に参加することで、GII の作成を支援しています。

CII について

インド産業連合 (CII) は、諮問・コンサルティング機関として産業、政府、市民社会と連携し、インドの発展を促進する環境作りや維持に尽力しています。CII は産業が運営管理を行う非政府・非営利組織で、インドの発展に重要な役割を担っています。1895 年の創立以来、インドを代表する産業団体として、SME や MNC などの官民部門から 9000 組織が正会員として加盟し、世界約 265 の国と地域の幅広い産業から 30 万社以上の企業が準会員として加盟しています。

ダッソー・システムズ - The 3DEXPERIENCE カンパニー

ダッソー・システムズ - The 3DEXPERIENCE カンパニーは、持続可能なイノベーションを想像するための仮想宇宙をビジネスや個人に提供しています。その世界有数のソリューションは、製品の設計、製造、サポートの方法を転換します。ダッソー・システムズの協力的なソリューションは、社会的なイノベーションを強化し、現実世界を改善するための仮想世界の可能性を広げます。当グループは 140 カ国以上にあらゆる規模、そしてあらゆる産業から 250,000 件以上の顧客に価値を提供しています。詳細については当社ウェブサイトをご覧ください。 www.3ds.com

CNI-Sebrae について

ブラジル全国工業連盟 (Confederação Nacional da Indústria - CNI) は、ブラジル国内の工業を代表する最上位組織です。1938 年の設立以来、CNI は国内ビジネスと製造業の利益擁護に取り組み、政府の行政、立法、司法の各機関やブラジル内外の各種機関や組織と交渉を行っています。CNI はブラジルを構成する 27 州の地方工業連盟と約 70 万社が加盟している 1,250 の業界団体を統括しています。さらに、CNI は、工業社会サービス (Serviço Social da Indústria - SESI)、全国工業職業訓練機関 (Serviço Nacional de Aprendizagem Industrial - SENAI)、エウヴァウド・ロヂ研究所 (Instituto Euvaldo Lodi - IEL) を直接的に管轄しています。

ブラジル零細・小企業支援サービス公社 (Brazilian Micro and Small Business Support Service - Sebrae) は、小企業の持続可能性と競争力開発を促進するための非営利の民間組織です。その経験により、ブラジル国内の小企業の開発の専門組織となっています。Sebrae は、起業家を育成し、小企業が成長してより多くの雇用を創出できるよう支援し、ブラジル経済の発展を支えています。また、国内 700 箇所に現地サービスセンターで構成される

ネットワークを構築しています。5,000 名を超える小企業専門家を擁し、多数の外部コンサルタントと連携し、会社
経営者または起業を計画している人々に知識とノウハウを伝えています。

プレス関連のお問い合わせ先



WIPO		
Samar Shamoon	samar.shamoon@wipo.int	+41 22 338 8161
Edward Harris	edward.harris@wipo.int	+41 22 338 7224
コーネル大学		
Sarah Magnus-Sharpe	sm2374@cornell.edu	+1-607-254-7109
INSEAD ヨーロッパ		
Chris Howells	chris.howells@insead.edu	+65 6799 5490
Aileen Huang	aileen.huang@insead.edu	+65 6799 5552
Cheryl Ng	cheryl.ng@insead.edu	+65 6799 5490
Ilan Goren	ilan.goren@insead.edu	+33 678042577

ランキング

2019年

順位	経済圏	2018年順位	変更
1	スイス	1	0
2	スウェーデン	3	1
3	アメリカ合衆国	6	3
4	オランダ	2	-2
5	イギリス	4	-1
6	フィンランド	7	1
7	デンマーク	8	1
8	シンガポール	5	-3
9	ドイツ	9	0
10	イスラエル	11	1
11	韓国	12	1
12	アイルランド	10	-2
13	香港、中国	14	1
14	中国	17	3
15	日本	13	-2
16	フランス	16	0
17	カナダ	18	1
18	ルクセンブルク	15	-3
19	ノルウェー	19	0
20	アイスランド	23	3
21	オーストリア	21	0
22	オーストラリア	20	-2
23	ベルギー	25	2
24	エストニア	24	0
25	ニュージーランド	22	-3
26	チェコ共和国	27	1
27	マルタ	26	-1
28	キプロス	29	1
29	スペイン	28	-1
30	イタリア	31	1
31	スロベニア	30	-1
32	ポルトガル	32	0
33	ハンガリー	33	0
34	ラトビア	34	0
35	マレーシア	35	0
36	アラブ首長国連邦	38	2
37	スロバキア	36	-1
38	リトアニア	40	2
39	ポーランド	39	0
40	ブルガリア	37	-3
41	ギリシャ	42	1



2019年

順位	経済圏	2018年順位	変更
42	ベトナム	45	3
43	タイ	44	1
44	クロアチア	41	-3
45	モンテネグロ	52	7
46	ロシア連邦	46	0
47	ウクライナ	43	-4
48	ジョージア	59	11
49	トルコ	50	1
50	ルーマニア	49	-1
51	チリ	47	-4
52	インド	57	5
53	モンゴル	53	0
54	フィリピン	73	19
55	コスタリカ	54	-1
56	メキシコ	56	0
57	セルビア	55	-2
58	モルドバ共和国	48	-10
59	北マケドニア	84	25
60	クウェート	60	0
61	イラン・イスラム共和国	65	4
62	ウルグアイ	62	0
63	南アフリカ	58	-5
64	アルメニア	68	4
65	カタール	51	-14
66	ブラジル	64	-2
67	コロンビア	63	-4
68	サウジアラビア	61	-7
69	ペルー	71	2
70	チュニジア	66	-4
71	ブルネイ・ダルサラーム	67	-4
72	ベラルーシ	86	14
73	アルゼンチン	80	7
74	モロッコ	76	2
75	パナマ	70	-5
76	ボスニア・ヘルツェゴビナ	77	1
77	ケニア	78	1
78	バーレーン	72	-6
79	カザフスタン	74	-5
80	オマーン	69	-11

2019 年

順位	経済圏	2018 年順位	変更
81	ジャマイカ	81	0
82	モーリシャス	75	-7
83	アルバニア	83	0
84	アゼルバイジャン	82	-2
85	インドネシア	85	0
86	ヨルダン	79	-7
87	ドミニカ共和国	87	0
88	レバノン	90	2
89	スリランカ	88	-1
90	キルギスタン	94	4
91	トリニダード・トバゴ	96	5
92	エジプト	95	3
93	ボツワナ	91	-2
94	ルワンダ	99	5
95	パラグアイ	89	-6
96	セネガル	100	4
97	タンザニア連合共和国	92	-5
98	カンボジア	98	0
99	エクアドル	97	-2
100	タジキスタン	101	1
101	ナミビア	93	-8
102	ウガンダ	103	1
103	コートジボワール	123	20
104	ホンジュラス	105	1
105	パキスタン	109	4
106	ガーナ	107	1
107	グアテマラ	102	-5
108	エルサルバドル	104	-4
109	ネパール	108	-1
110	ボリビア多民族国	117	7
111	エチオピア	該当なし	該当なし
112	マリ	112	0
113	アルジェリア	110	-3
114	ナイジェリア	118	4
115	カメルーン	111	-4
116	バングラデシュ	116	0
117	ブルキナファソ	124	7
118	マラウイ	114	-4
119	モザンビーク	115	-4

2019 年 順位	経済圏	2018 年順位	変更
120	ニカラグア	該当なし	該当なし
121	マダガスカル	106	-15
122	ジンバブエ	113	-9
123	ベニン	121	-2
124	ザンビア	120	-4
125	ギニア	119	-6
126	トーゴ	125	-1
127	ニジェール	122	-5
128	ブルンジ	該当なし	該当なし
129	イエメン	126	-3